

南三陸病院経営強化プラン

点検及び評価報告書

令和7年3月

南三陸町

南三陸病院経営強化プラン点検・評価報告

公立病院の経営については、これまで総務省が示した公立病院改革ガイドライン（平成19年度）及び新公立病院改革ガイドライン（平成26年度）に基づき、当院においても「公立志津川病院改革プラン（平成21年2月策定）【対象期間：平成21年度～平成23年度】」、「南三陸町病院事業改革プラン（平成29年3月策定）【対象期間：平成28年度～平成32年度】」を策定し、「経営の効率化」、「再編・ネットワーク化の取組」、「経営形態の見直し」、「地域医療構想を踏まえた役割の明確化」を4つの柱として病院経営の改善に取り組んできました。

多くの公立病院において、医師不足や経営状況の悪化等により、医療提供体制の維持が厳しい状況となる中、総務省は令和4年3月に「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」を新たに策定し、「再編・ネットワーク化」だけでなく、「経営強化」が重要であり喫緊の課題としました。当該ガイドラインにより、①役割・機能の最適化と連携の強化、②医師・看護師等の確保と働き方改革、③経営形態の見直し、④新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組、⑤施設設備の最適化、⑥経営の効率化等を記載した「地方公共団体における公立病院経営強化プラン」を策定するよう示されました。

当院においてもこうしたことを踏まえ、「南三陸病院経営強化プラン」（以下「経営強化プラン」という。）を令和6年3月に策定いたしました。

本プランは令和5年度から令和9年度までの5年間を計画期間とし、医療需要、環境が変化していく中で継続して安定した医療を提供していくため、健全な事業運営を目指すものです。

令和5年度の決算を終え、本経営強化プランの点検と評価を行ったことから、結果を報告いたします。

当院の現状

病 院 名	南三陸病院
所 在 地	宮城県本吉郡南三陸町志津川字沼田14番地3
開 設	昭和28年開設 東日本大震災後、平成27年12月に再建
診療科目	10科 内科、小児科、外科、整形外科、泌尿器科、皮膚科、眼科、 婦人科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科
病 床 数	90床（一般病床40床、療養病床50床）

入院患者数の推移 【単位：人】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
一般病床	12,334	10,801	11,008	12,197	11,449	11,772
療養病床	17,823	17,434	16,835	15,907	14,792	15,505
合 計	30,157	28,235	27,843	28,104	26,241	27,277
前年度比	▲1,338	▲1,922	▲392	261	▲1,863	1,036

病床稼働率 【単位：％】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
一般病床	84.5	73.8	75.4	83.5	78.4	80.6
療養病床	97.7	95.3	92.2	87.2	81.1	85.0
合 計	91.8	88.1	84.8	85.6	79.9	83.0

外来患者数 【単位：％】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
患 者 数	49,675	49,311	44,770	44,097	44,260	44,227
診療日数	244	240	243	242	243	243
1日平均	203.6	205.5	184.2	182.2	182.1	180.5

1 役割・機能の最適化と連携の強化

町内唯一の入院機能を有する病院であり、かつ、救急告示を受けた医療機関として、一般医療および救急医療の対応に努めています。一般病床40床、療養病床50床を有する病院として急性期患者、慢性期患者の診療を行いました。現在の機能を維持出来るよう努め、入院患者数は令和4年度と比較して1,036人、3.9%の増、外来患者数は33人、0.1%とわずかな減少となりました。新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行し、日常生活も多くの制限が緩和され、人々の交流も増え始めてきましたが、病院事業として適切に役割を果たし良質な医療を提供していくことを引き続き行ってまいります。

地域医療連携部を中心に地域の基幹病院である気仙沼市立病院の後方支援病院としての役割を果たすべく、情報共有を図り連携を密に二次救急、在宅復帰を目指すための継続的な治療とリハビリテーションを行う慢性期医療の役割を果たしてきました。また、訪問診療については令和4年度と比較して60件減少しましたが、訪問看護につきましては、1,118件増加いたしました。新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、日常生活の制限が緩和されたことにより、利用者が増加いたしました。今後も、町民に安全・安心の医療提供に努めてまいります。

療養病床入院患者の住所別の割合の指標（医療県内市町） 【単位：％】

	令和3年度 【実績】	令和4年度 【実績】	令和5年度 【実績】	令和6年度 【計画】	令和7年度 【計画】	令和8年度 【計画】	令和9年度 【計画】
南三陸町	44.2	54.7	42.2	50.0	50.0	50.0	50.0
気仙沼市	49.4	38.8	53.4	45.0	45.0	45.0	45.0
登米市	3.5	3.8	1.4	4.0	4.0	4.0	4.0
石巻市	1.2	1.4	0.0	1.0	1.0	1.0	1.0

医療機能に係る指標 【単位：人】

	令和3年度 【実績】	令和4年度 【実績】	令和5年度 【実績】	令和6年度 【計画】	令和7年度 【計画】	令和8年度 【計画】	令和9年度 【計画】
訪問診療 件数(実績)	1,233	1,185	1,125	1,250	1,250	1,250	1,250
訪問看護 件数(実績)	5,600	5,294	6,412	6,000	6,000	6,000	6,000

公立病院は、地方公営企業として運営される以上、独立採算の運営を求められるが、過疎地域での地域医療を提供するためには、病院経営に伴う収入のみをもって運営に充てることが困難であり、一般会計から令和4年度と同額の340,000千円の負担金により運営を行いました。持続可能な病院経営を構築するために、引き続き患者数の増及び患者単価の増を基本に収支改善に努め、身近に利用いただける病院を目指し、サービスの向上に取り組んでまいります。

一般会計負担金

【単位：千円】

	令和3年度 【実績】	令和4年度 【実績】	令和5年度 【実績】	令和6年度 【実績】	令和7年度 【実績】	令和8年度 【実績】	令和9年度 【実績】
負担金	340,000	340,000	340,000				

2 医師・看護師の確保と働き方改革

安定した地域医療の提供ができるよう医学生等修学資金貸付事業を継続いたしました。令和5年度では応募がなく貸付を実行いたしませんでしたが、これまでに、医師3名、薬剤師1名、看護師5名、診療放射線技師1名の計10名に貸付けを行い、医療従事者7名は当院の病院業務に従事しております。また、地域医療研修に係る受入れも積極的に行い、地域医療の現状と課題を多くの医師に理解していただきました。

医師の確保につきましては、令和4年度と同様で常勤医師が6名の体制でした。今後も医師の派遣につきましては厳しい状況が続くと思っておりますが、引き続き東北大学病院等への派遣医師の要請を継続し、安心・安全な医療の提供に努めて参ります。また、働き方改革の一環として今後電子カルテを更新などICTの活用についても積極的に取り組み、業務の効率化を図ってまいります。

地域医療研修の受入状況

【単位：病院、人】

	令和3年度 【実績】	令和4年度 【実績】	令和5年度 【実績】	令和6年度 【実績】	令和7年度 【実績】	令和8年度 【実績】	令和9年度 【実績】
病院数	5	6	7				
医師数	25	28	27				

3 経営形態の見直し

全国的にも多くの地域で人口減少や医師不足、医療需要の変化、物価高騰による厳しい経営環境となっております。当院も厳しい状況ですが本強化プランで

示してあるとおり、地方公営企業法一部適用を維持しつつ、果たすべき役割や機能を定期的に見直し、将来にわたり安定的な医療を提供していくために継続的に見直しを行い、最適な形態への移行を検討し進めてまいります。

4 新興感染症の感染拡大等に備えた平時からの取組

令和元年度から猛威を振るった新型コロナウイルス感染症も令和5年度には5類感染症に移行し日常生活も多くの制限が緩和されましたが、繰り返す感染の波に注意を図りつつ、院内では感染対策委員会を中心に平時から感染防止対策を徹底しました。院内カンファレンスや気仙沼市立病院との合同カンファレンス、院内研修を実施し感染対策の知識や技術の向上を図り、感染対策に努めました。令和6年度以降も継続し知識や技術の向上を図ってまいります。

5 施設設備の最適化

東日本大震災により壊滅的な被害を受け再建された当院も既に9年が過ぎました。施設のハード面では大きな修繕等はありませんが、附属する器具や機器などの修繕の頻度が増えております。病院を運営する上で更新は必須であるものが多く、来院者の方々のご迷惑がかからぬよう努めてまいります。医療機器につきましては、精密機械が多く価格も高いことから、真に必要な医療機器であるのかを十分に見極め、更新の平準化を図ってまいります。

医療機器更新、施設整備（1件500万円以上）

【単位：件】

	令和3年度 【実績】	令和4年度 【実績】	令和5年度 【実績】	令和6年度 【実績】	令和7年度 【実績】	令和8年度 【実績】	令和9年度 【実績】
医療機器等	0	3	8				
施設整備	0	0	0				

令和5年度更新した医療機器等

品 目	用 途
全身用X線CT装置	撮影
超音波診断装置	エコー検査
看護部門管理システム	労務管理

X線骨密度測定装置	骨密度測定
病院ネットワーク機器	ファイアウォール構築
自動視野計	視野測定
透析通信システム	情報処理

6 経営の効率化

病院事業として適切に役割を果たし良質な医療を提供していくため基幹病院である気仙沼市立病院との連携や町内にある介護老人保健福祉施設、特別養護老人ホーム等との連携を図り、病床稼働率の向上に努めましたが、入院患者数は令和4年度より一般病棟、療養病棟合わせて1,036人、3.9%の増となりました。新型コロナウイルス感染症の影響も大きな1年でしたが、今後人口減少や物価高騰などの要因により病院経営は益々厳しさが増していきます。業務の効率化を図り経費の抑制に努め、継続して安定した医療を提供していくための努力をしてまいります。

経常収支比率・修正医業収支比率

【単位：千円、％】

		平成30年度 【実績】	令和元年度 【実績】	令和2年度 【実績】	令和3年度 【実績】	令和4年度 【実績】
収 益	医業収益	1,379,389	1,341,070	1,319,680	1,376,159	1,334,650
	医業外収益	510,512	514,493	724,844	486,497	463,427
	特別利益	0	0	41,202	0	11
	経常収益	1,889,901	1,855,563	2,044,524	1,862,656	1,798,077
費 用	医業費用	1,906,494	1,872,445	1,886,174	1,780,965	1,735,709
	医業外費用	126,371	129,562	136,899	51,010	52,205
	特別損失	0	0	41,202	0	38
	経常費用	2,032,865	2,002,007	2,023,073	1,831,975	1,787,914
経常収支比率		93.0	92.7	101.1	101.7	100.6
修正医業収支比率		69.5	68.5	66.9	74.4	74.1
病床稼働率（全体）		91.8	88.1	84.8	85.6	79.9
病床稼働率（一般）		84.5	73.8	75.4	83.5	78.4
病床稼働率（療養）		97.7	95.3	92.2	87.2	81.1

		令和5年度 【実績】	令和6年度 【実績】	令和7年度 【実績】	令和8年度 【実績】	令和9年度 【実績】
収 益	医業収益	1,354,037				
	医業外収益	453,101				
	特別利益	404				
	経常収益	1,807,138				
費 用	医業費用	1,767,890				
	医業外費用	57,287				
	特別損失	2,700				
	経常費用	1,825,177				
経常収支比率		99.0				
修正医業収支比率		74.5				
病床稼働率（全体）		83.0				
病床稼働率（一般）		80.6				
病床稼働率（療養）		85.0				